

第22回秋田県障害者技能競技大会 「木工」競技課題

次の注意事項及び手順に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

1. 注意事項

- (1) 競技開始後、質問等がある場合、参加者は手を上げて名札着用の審査員の指示を受けること。
- (2) 競技開始後、付添者等は、競技終了まで参加者に声掛けはできないこと。
- (3) 使用工具及び使用機械は、「5. 参加者が準備、持参する工具等備品一覧表」及び「6. 競技会場に置かれている工具等備品一覧表」に示すものに限る。特に、工具類に型等を取り付けたり、けびき・かんな等の事前固定はしないこと。
- (4) 競技開始前に審査員による工具チェックを実施する。
- (5) 競技中、工具の使用には十分注意し、怪我をしないように気を付けること。
特に「のみ」「のこぎり」の2工具については、以下の内容について注意すること。
 - ① のみ
 - ・材料を突き削る時は、「のみ」を両手で持ち少量ずつそくように削ること
 - ・材料を「のみ」で加工（特に小さい材料）する時は、動かないように固定すること。
 - ・「のみ」はよく研いである切れるものを使用すること。また、「のみ」が切れ止んできた時は、無理な力を使わず少しずつ削ること。
 - ② のこぎり
 - ・刃の近くに手を置かないこと
 - ・切り落とす側を押さえないこと
 - ・挽き始めと終わりはゆっくりと挽くこと
 - ・材料を切っている時に予想外の方向に刃が行かないよう、無理に力を加えないこと
- (6) 支給材料の寸法及び数量は、「4. 支給材料」に示すとおりであること。
- (7) 支給材料に異常がある場合には、申し出ること。
- (8) 支給材料は材料の欠陥のない限り、再支給しないこと。但し、仕損じにより材料交換をしないと課題が完成しない場合には、材料交換を行うこと。その場合には、減点対象とすること。
- (9) 競技中は、工具の貸し借りを禁止すること。
- (10) 競技時の服装は、競技に適したものであること。
- (11) 他の競技者が卓上ボール盤を使用している場合は、並んで待つこと。
- (12) 製作時間の評価は、2時間以内に課題の製作を終了すれば「減点なし」とすること。時間を有効に活用し、ていねいな作品作りを行うこと。
- (13) 作品は閉会式終了後、受付で付添の先生に渡すので学校で受け取ること。

2. 競技時間 120分

3. 仕様

- (1) 製作する箱の隅は三枚組み接ぎに隠しぎ打ちダボ埋めとすること。
- (2) ダボ埋めのための穴あけは、会場に準備してある卓上ボール盤で競技者自身が穴あけすること。
- (3) くぎ打ちにはくぎ締めを使用し、三枚組継ぎの組立てとダボ埋め込みには接着剤を用いること。
- (4) 加工にはのこぎり・のみ・罫引き等を使用すること
- (5) 組立ての微調整にはかんなを使用してもよい。
- (6) 箱の底板は接着剤で接着し、指定の位置にくぎ打ちとすること。
- (7) 箱の角は、すべて糸面取りとする。

4. 支給材料

No.	部品名	寸法(mm)			数量	備考
		長さ	幅	厚さ		
1	箱側板	350.3	75.5	12.3	2	朴木
2	箱側板	250.3	75.5	12.3	2	朴木
3	箱底板	350	250	4	1	シナ合板(両面仕上げ)
4	鉄釘	25	—	—	12	平頭(枠用)
5	鉄釘	15	—	—	16	平頭(底板用)
6	ダボ	100	φ6		2	
7	接着剤 (木工ボンド)				1	酢酸ビニール樹脂 エマルジョン
8	サンドペーパー				2	

※上記以外の材料の持ち込みはできないこと。(同等品を含む)

5. 参加者が準備、持参する工具等備品一覧表

No.	品名	規格・寸法(mm)	数量	備考
1	両歯のこぎり	240~270	1	替え刃式も可
2	胴付のこぎり	210~240	1	同上
3	平(手)かんな	中・仕上げ	各1	
4	切り面かんな		1	
5	追(大)入れのみ	9~36	適宜	
6	クランプ	150~210	適宜	
7	突きのみ	9~24	適宜	
8	ものさし	600程度	1	さしがね・スケール(鋼尺コンベックスケールも可)
9	直角定規(スコヤ)	200程度	1	木矩も可
10	挽き当て定規	直線胴付きびき用	1	
11	白書き		1	
12	筋けびき		1	
13	直角木口台	300×300程度	1	
14	玄のう	小・中	各1	
15	釘締め		1	
16	釘抜き	パール(長さ150程度)	1	
17	打ちあて	クランプ用のあて木にも使用	適宜	
18	端金	450程度	適宜	
19	きり(手もみ)	四つ目きり	1	針打ちの位置決め用

20	鉛筆		適宜	墨付け用
21	消しゴム		1	
22	のりべら・ボンド刷毛		1	
23	保護メガネ			卓上ボール盤を使用する際に着用が望ましい (会場にも予備2個を用意しています。)
24	真鍮皿			接着剤(木工用ボンド)を入れる皿

注1) 同種のものについては、予備工具を持参してもよい。ただし、同種のは3個以内とする

注2) 一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。

6. 競技会場に置かれている工具等備品一覧表

No.	準備物名	規格・寸法(mm)	数量	備考
1	材料一式	上記「4. 支給材料」のとおり	1セット	全員
2	小型ほうき・ちりとり		1セット	全員
3	卓上ボール盤 (ホーザン株式会社製 K-21 予定)	5. 5mm木工錐付	2	
4	保護メガネ	メガネの上から着用できるタイプ	2	予備用
5	バケツ		1	接着剤ふき取り用
6	布のウエス(綿)又は綿タオル		1	

7. 審査基準

以下の基準により審査を行うこと。

- (1) 寸法精度～指定寸法と完成品の合致状況
- (2) できばえ～仕上げ度(くぎ打ち位置およびダボ位置、三枚組接ぎ部の隙間)
- (3) 作業工程・態度～基本動作、作業手順、全体の仕上がりがり度等、全般的な評価